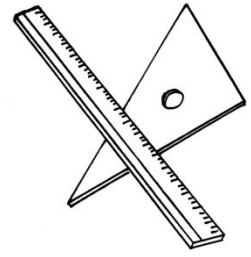
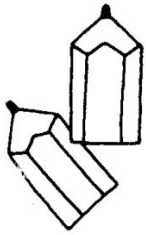


令和6年度

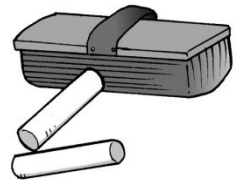


学習のしおり



1 学年

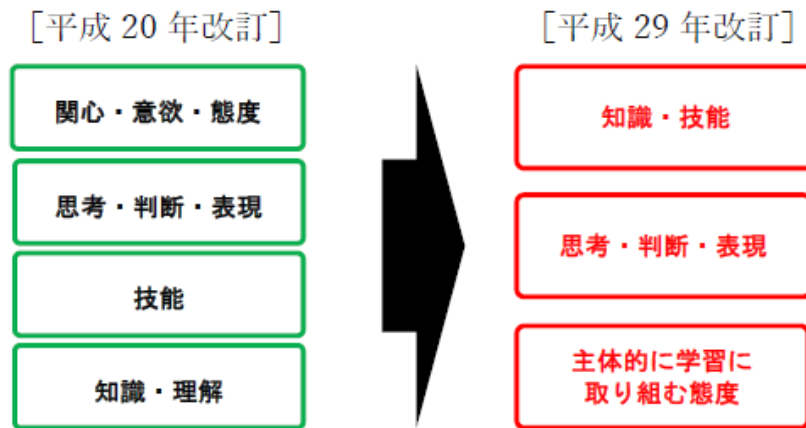
河内長野市立南花台中学校



1. ポイント

学習指導要領の記載に従い、次のような評価を行っています。

- ★「観点別学習状況の評価」をもとに「目標に準拠した評価」で評価しています。
- ★ 1・2学期の欄には、その学期の評価が記載されます。
- ★ 3学期の欄には、1年間を総合した評価が記載されます。



【参考】学校教育法第30条第2項

生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。

(国立教育政策研究所 資料より)

2. 評価・・・上記3観点に基づいて評価します

・評価のための資料（以下の資料を総合し評価が行われます）

- ① 授業への取り組み（発言・協力・提出物・忘れ物など）
- ② 作品・発表・実習など
- ③ テスト

・評定 目標に照らして、その実現状況を総括的に評価したもの（5段階評定）

- 5・・・十分満足できるもののうち、特に程度が高い状況と判断されるもの
- 4・・・十分満足できる状況と判断されるもの
- 3・・・おおむね満足できる状況と判断されるもの
- 2・・・努力を要する状況と判断されるもの
- 1・・・一層努力を要する状況と判断されるもの（表記：市内統一）

・観点別評価 目標に照らして、その実現状況を観点別に評価したもの（A・B・C）

- A・・・十分満足できる状況と判断されるもの
- B・・・おおむね満足できる状況と判断されるもの
- C・・・努力を要する状況と判断されるもの（表記：市内統一）

◆本冊子は、各家庭において生徒たちに学習習慣を身につけさせるための手立てや授業に取り組む際の基本的な心構え、さらに1年間の学習内容および学習評価の進め方などについて記載しています。

ぜひ、この機会に、生徒たちの学習がさらに充実するように、ご活用いただきますようお願いいたします。

令和6年度学習内容一覧表

1年生

河内長野市立南花台中学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	言葉に出会うために 1学びをひらく	2新しい視点で	3言葉に立ち止まる			4心の動き	5筋道を立てて	6いにしえの心 にふれる	7価値を 見いだす		8自分を見つめる	
地理	世界と日本の地域構成		世界のさまざまな地域			世界の諸地域						
社会	歴史のとらえ方と 調べ方		古代国家の成立と東アジア			武家政権の成長と東アジア						
数学	正負の数		文字と式			方程式	比例と反比例	平面図形	空間図形	データの分析と活用		
理科	1. いろいろな生物とその共通点		2. 活きている地球		3. 身のまわりの物質		4. 光・音・力による現象					
音楽	歌唱、鑑賞、器楽、楽典、聴音		歌唱、鑑賞、器楽、器楽		歌唱、器楽、鑑賞、卒業に向けて							
美術	出会って広げよう・鑑賞との出会い	色の基礎知識	三原色から生まれる色	文字のデザインとレタリング	見て感じて描く	立体のデザイン	美しい構成と装飾		伝統工芸の鑑賞			
保健	健康な生活と病気の予防											
体育	集団行動 体カテスト 体育理論	陸上	水泳	体育大会 練習	バレー	器械運動	長距離	バスケットボール	ダンス			
技術	ガイダンス	材料と加工の技術、 製作品の加工・製作 (ソーマキユープ)	材料を利用するための技術 制作のための技能 (木材金属プラスチック)	生物育成に関する技術(栽培計画、栽培実習) 材料と加工の技術(設計)	材料と加工の技術 製作品の製作		組立て、仕上げ		材料と加工に関する技術の適切な評価・活用・まとめ			
家庭	ガイダンス	衣食住の生活		消費生活・環境		衣食住の生活						
英語	音と文字を結びつける 文字を正確に書く ローマ字(ヘボン式) で書ける	プログラム1 プログラム2 プログラム3	自己紹介 (11文)	プログラム4 プログラム5	プログラム6	プログラム7 「私の大切な人」	プログラム8	プログラム9	プログラム10 (英語劇)	英語落語		
		衣食住の選択と手入れ		消費生活が環境に与える影響		生活を豊かにするものの製作		住まいのこちよさ		製作		

●学習目標

○知識・技能

社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしようとする。(漢字・語句・古典など)

○思考・判断・表現

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにしようとする。

○主体的に学習に取り組む態度

言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしたりしながら、言葉がもつ価値に気づこうとしているとともに進んで読書をし、言葉を適切に使おうとする。

●学習を進めるに当たって

<p>使用教材</p>	<p>教科書 国語1 光村図書 中学書写 教育出版 副教材 よくわかる国語のワーク1 明治図書 漢字の学習1 明治図書 問題中心の新文法ノート 浜島書店 観点別評価テスト積み上げ 明治図書</p>	<p>持ち物</p>	<p>教科書 ノート 漢字ノート 国語の学習 1 漢字の学習 1</p>
<p>学習の進め方</p>	<p>○ 漢字 漢字を丁寧に書くこと。正確な文字を理解するために、小テストを繰り返して行い、知識の定着を目指します。</p> <p>○ 音読・暗唱 詩や文の朗読や暗唱を行い、表現すること、文章のリズム(詩や古典)になれることを目指します。また、聞いて理解する力を養います。</p> <p>○ 読解 内容の正確な把握を目指し、前後の文章のつながりから読み取る力を養います。文章化されていない部分も文章化されていることを手がかりに適切に読み取り、筋道を立てて考える態度を育てます。</p> <p>○ 作文 自分の考えや思いを適切に表現し、論理的な文章を書く力を養います。</p> <p>○ 討論 友達の話や意見を正確に聞き取る力、自分の気持ちをより正確に表現する力を養います。つながり学びあう態度を育てます。</p> <p>○ 書写 正確で読みやすい字を、硬筆や毛筆で書く経験を積みみます。</p>		
<p>学習上の留意点</p>	<p>まずは授業を大切にしてください。国語は人の言葉を直接聞き取ったり、文字を読んだりすることから始まります。単に受身の姿勢では、人の言葉は頭に入ってはきけません。外から入ってきた情報の意味を、いったん自分の中で分析する必要があります。つまり集中力がもっとも大切な教科だと言えます。</p> <p>そして、自分の気持ちや考えを言葉(文章)にする努力をしてほしいと思います。自分が何を考えているのかを、自分自身が整理する作業が必要です。国際社会の中で、論理的に考え、自分の考えを持ち、それを自分の言葉で表現する力が重要視されています。国語の授業では論理的思考力と表現力を磨くことを最大の目的としています。難しいことはありません、「やってみよう」という前向きな姿勢で授業に参加してください。そうすれば、おのずと道は開かれるでしょう。</p>		

学習計画		評価に当たって			
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法	
4	『朝のリレー』(3) 『野原はうたう』(6) 図書館オリエンテーション(1) 『シンシュン』(6) 情報を的確に聞き取る(2) 情報を整理して書こう(4) 漢字に親しもう1(2) 『ダイコンは大きな根』(5) 『ちょっと立ち止まって』(6) 漢字に親しもう2(2) 情報を集めよう(2) 文法(5) 『詩の世界』(2) 『比喩で広がる言葉の世界』(3) 読書を楽しむ(2) 作文を書く(4) 『大人になれなかった弟たちに……』(6) 『星の花が降るころに』(5) 方言と共通語(2) 漢字の音訓(3) 『「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ』(6) 根拠を示して説明しよう(5) 話題や展開を捉えて話し合おう(4) 漢字に親しもう3(2) 『大阿蘇』(2) 『いろは歌・古典の世界』(3) 『蓬萊の玉の枝』(5) 『今に生きる言葉』(4) 『「不便」の価値を見つめ直す』(5) 百人一首(2) 漢字に親しもう4(2) 文法(6) 『少年の日の思い出』(6) 『随筆二編』(4) 漢字に親しもう5(2) 漢字の成り立ち(2) 漢字に親しもう6(2) さくらの はなびら(2) 書写(5) ※順序が変わることや他の教材を用いることもあります。	中間	知識・技能	○伝統的な言語の文化に興味を持ち、理解している	○授業での取り組み態度（観察） ○提出物(点検)ノート・プリント・漢字練習等 ○定期テスト ○漢字テスト
5				○言語表現における効果や技能を理解し、実際に使える	
6				○人に自分の考えを伝えるための工夫をしている	
7		○他人の話の内容を的確につかみ意見を持っている			
9		○説得力のある話ができる			
10		中間	思考・判断・表現	○書くこと	○授業での取り組み態度（観察） ○提出物(点検)ノート・プリント等 ○定期テスト ○作文
11				○目的や意図に応じて構成を考え、的確に書いている	
11				○進んで文章を書いて考えをまとめる	
12		期末		○読むこと	○授業での取り組み態度（観察） ○提出物(点検)ノート・プリント等 ○定期テスト
1				○表現上の工夫や、語句のまとまりを理解し、内容を理解することができる	
1				○文章を読んで自分の意見を持つことができる	
2		学年末		○主体的に授業に参加している。	○授業での取り組み態度（観察） ○提出物(点検)ノート・プリント等
3	○ノートにメモを取り、授業内容を整理している。 ○家庭学習を行うことができる				

●学習目標

- 社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。(主体的に取り組む態度)
- 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。(社会的な思考・判断・表現)
- 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べてまとめている。(社会的な知識・技能)

●学習を進めるに当たって

使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書(地理、歴史) ・地図帳 ・資料集(地理、歴史) ・白プリント ・授業プリント 	持ち物	教科書・ノート・地図帳・資料集 授業プリント、のり 色鉛筆または色ペンなど
学習の進め方	《確かな学力を身につけよう》 <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業を前向きな姿勢で集中して受けることができるよう努める。 ○ 発問に対して、積極的に考えてみる。 ○ 作業を丁寧に行い、資料を使いこなせるようにする。 ○ 積極的に話し合いに参加し、自分の意見が言えるようにする。 《家庭学習》 <ul style="list-style-type: none"> ○ 予習・復習を大切にし、授業で学んだ内容を家庭で確認しておく。 ○ 授業でとった板書内容やメモを整理しておく ○ 新聞やニュースなどを見る習慣をつける。 《定期テスト》 <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的な内容や意味をまとめて理解しておく。 ○ 授業で学んだ内容をしっかりまとめ、確認しておく。 ○ グラフや表などの資料を読み取り、地図を使いこなせるようにしておく。 ○ 時間内に解答できるように、時間を意識して解答できるようにしておく。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 持ち物を忘れずに持ってくるようにする。 ○ プリントやノートをしっかりまとめ、先生が話した内容などもメモすることができるように、日頃から意識して授業にのぞむ。 ○ 聞かるとき、話し合うとき、意見を言うとき、考えるときなど、その場に応じて学習に参加する。 ○ 「知ろうとする態度」、「考えぬこうとする態度」、「学び合おうとする態度」を大切にしよう。 		

令和6年度

●学習内容及び評価について（社会科 1学年）

		学習計画		評価に当たって					
月	単元計画		試験	評価の観点					
	地理	歴史		評価の観点	評価の場面・方法				
4	◎世界の姿【6】	◎歴史のとらえ方と調べ方【2】 ◎古代国家の成立と東アジア【20】	中間	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・各分野、各単元の学習内容を理解し、知識を身につけ、小テストや定期テストで正しく答えたり教師の問いかけに答えることができる。 ・地図や写真、グラフなどの資料から情報を収集、選択して読み取り、いろいろな場面に利用することができる。 ・図や表を用いて提出課題にまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト、実力テストなど ・提出課題 			
5	◎日本の姿【6】								
6	◎人々の生活と環境【10】								
7			期末						
8									
9	◎世界の諸地域 ・アジア州【8】 ・ヨーロッパ州【7】						実力	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・発問に対して、きちんと考察している。 ・課題に対して、既習の知識をもとに、正しい考察の上で判断ができる。 ・課題に対して、自分の意見や考えを文章記述や発表などの言語活動を通じて表現できる。
10	◎武家政権の成長と東アジア【17】								
11	・アフリカ州【6】 ・北アメリカ州【7】								
12			実力						
1	・南アメリカ州【7】 ・オセアニア州【6】	学年末		主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・前向きに授業に参加している。 ・発問や話し合いに対して積極的に参加し、考えようとしている。 ・学習プリントやノートなどを丁寧に作成し提出している。 ・マスメディアなどから情報を取り入れ、世の中のニュースをある程度認識している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習態度 ・話し合い活動 ・意見発表 ・提出課題など 			
2	◎武家政権の展開と世界の動き【9】								
3									

●学習目標

<p><知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解しよう。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けよう。 <p><思考・判断・表現></p> <p>数学を活用して事象を理論的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けよう。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度></p> <p>数学的活動の楽しさや図鶴額の良さを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善したりしよう。</p>

●学習を進めるに当たって

使用教材	教科書「新しい数学1」東京書籍 ワーク「よくわかる数学の学習」 リトライワーク スピード80 授業配付プリント	持ち物	教科書 ノート ワーク スピード80ファイル ファイル
学習の進め方	<p><確かな学力を身につけよう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業を前向きな姿勢で集中して受ける。 ・積極的に発表や質問をする。 ・分からない部分はその日のうちに解決する。 <p><家庭学習について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・復習を大切に、授業の内容を確認しておく。 ・学習した内容を問題集などで、練習する。 <p><定期テストについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書やノート、プリントをじっくり見直しましょう。 ・授業の内容をじっくり、確認し、反復練習をする。 ・解き方や公式を理解し、使えるようにする。 		
学習上の留意点	<p>私たちは生活の中で、いろいろな計算を使います。そして様々な活動をするときに、どの方法で取り組めば能率的に行えるだろうかということを考えます。また、人に何かを説明するとき、順序立てて話さないと言いたいことがうまく伝わらないこともあります。数学は計算力だけでなく、そのような力をつけるための時間です。だから答えを出すことだけを考えるのではなく、答えを導き出す過程を大切にしてください。</p>		

学習計画		評価に当たって			
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法	
4	0章 算数から数学へ(3) 1節 整数の性質 1章 正負の数(25)	中間テスト	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・定期テスト ・実力テスト ・小テスト等
5	1節 正負の数 2節 加法と減法 3節 乗法と除法				
6	4節 正負の数の利用 2章 文字と式(18)				
7	1節 文字を使った式 2節 文字式の計算 3節 文字式の利用	期末テスト	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直感的に捉え理論的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見出し、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読みとり批判的に考察して判断したり、不確定な事象のおこりやすさについて考察したりする力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・定期テスト ・実力テスト ・小テスト等
8	3章 方程式(14)				
9	1節 方程式とその解き方 2節 1次方程式の利用				
10	4章 比例と反比例(22) 1節 関数と比例・反比例 2節 比例の性質と調べ方	中間テスト	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直感的に捉え理論的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見出し、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読みとり批判的に考察して判断したり、不確定な事象のおこりやすさについて考察したりする力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・定期テスト ・実力テスト ・小テスト等
11	3節 反比例の性質と調べ方 4節 比例と反比例の利用				
12	5章 平面図形(17) 1節 図形の移動 2節 基本の作図 3節 おうぎ形				
1	6章 空間図形(18) 1節 いろいろな立体 2節 立体の見方と調べ方	期末テスト	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って検討しようとしていたり、多面的に捉え考えようとしていたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・定期テスト ・実力テスト ・小テスト等 ・自習ノート等
2	3節 立体の体積と表面積 7章 データの分析と活用(10)				
3	1節 データの整理と分析 2節 データの活用 3節 ことからの起こりやすさ				

●学習目標

○知識・技能

理科に関する知識や原理・法則などを理解し、観察・実験に関する操作を身に付ける。

○思考・判断・表現

理科で学んだ知識や観察・実験から得られた結果から、規則性や新たな疑問を考える。

○主体的に学習に取り組む態度

意欲、関心をもって課題に取り組み、自主的に探究活動や提出物ができる。

●学習を進めるに当たって

<p>使用教材</p>	<p>未来へ広がるサイエンス1(啓林館) 授業ノート 理科の完全学習(ワーク) 確認から発展へ(白プリ)</p>	<p>持ち物</p>	<p>未来へ広がるサイエンス1 (啓林館) 授業ノート 理科の完全学習(ワーク)</p>
<p>学習の進め方</p>	<p>《確かな学力を身につけよう》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自然の様々な現象に興味・関心を持とう。 ○ 学習の目標をとらえ、内容をしっかり理解できるように取り組もう。 ○ ノートや観察・実験レポートはわかりやすく工夫して書こう。 ○ 実験をする際は、基本操作や記録の技能を身に付け、見通しをもって取り組もう。 ○ 宿題はもちろん、家庭学習もしっかりやろう。 ○ わからないところは、自分で調べたり、誰かに質問したりして、必ず解決しよう。 <p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 復習はその日のうちに行い、授業を思い出しながら、教科書・資料集などをもう一度見直す。(わからないところはそのままにしない) ○ ワーク、教科書などの問題を解いてみる。 (理解しているかどうかは問題を解いてみればわかります) <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ テスト範囲は、テスト一週間前には通知します。 ○ 教科書・ワークなどをよく見直し、十分に理解しておこう。 ○ 問題練習をできるようにするまで、繰り返しやろう。 ○ 学習計画をきちんとたてて、実行していこう。 		
<p>学習上の留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書、ノート、理科便覧、配布したプリントなどは必ず授業が始まる前に用意しておこう。 ○ 理科室への移動はチャイムが鳴る前に完了しておこう。 ○ 授業は真剣に、集中して、積極的に取り組もう。 ○ 先生や発表者の話をしっかり聞こう。 ○ 実験によっては危険な薬品を使うことがあります。また、ガラス器具や危険をとまなうものもあります。先生の指示がある前から器具にふれたり勝手なことをしないこと。 また、実験中もふざけないこと。 		

学習計画		評価に当たって			
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法	
4	自然のなかにあふれる生命(9)	中間テスト	知識・技能	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・レポート ・小テスト ・定期テストなど
5	単元1 いろいろな生物とその共通点				
6	1章 植物の特徴と分類(8)				
7	2章 動物の特徴と分類(9)				
7	単元4 活きている地球				
7	1章 身近な大地(3)				
8					
9	2章 ゆれる大地(4)				
9	3章 火をふく大地(7)				
10	4章 語る大地(7)				
11	単元2 身のまわりの物質				
11	1章 いろいろな物質とその性質(7)				
11	2章 いろいろな気体とその性質(5)				
12	3章 水溶液の性質(6)	期末テスト	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察（授業態度、発表など） ・ノート ・レポート ・小テスト ・ワーク ・ワークシートなど
1	4章 物質のすがたとその変化(7)				
1	単元3 光・音・力による現象				
2	1章 光による現象(8)				
2	2章 音による現象(6)				
3	3章 力による現象(9)				

●学習目標

- 音や音楽への興味・関心を養い、音楽活動の楽しさを体験することを通して、生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。
- 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、様々な鑑賞を通して音楽の良さや多様性を感じとる。
- 豊かな音楽活動を目指し、基礎的な表現(歌唱・器楽・創作)を身につける。

●学習を進めるに当たって

使用教材	教科書 中学生の音楽 1 中学生の器楽	持ち物	・教科書 2冊 ・ファイル ・筆記用具 以上を音楽袋に入れる
学習の進め方	<p><授業での取り組みについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○興味・関心をもって授業に臨む ○授業の準備をきちんとする。(忘れ物をしない) ○話をよく聞き、意欲的に練習や活動に参加する。 ○授業の中で学習した曲について、根拠をもって感想や意見を言える。 <p><家庭学習について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題プリントを行う ○長期休暇(夏休み等)の課題をする。 <p><定期テストについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○実技テストは基本として授業時間に行う ○毎回の授業での活動や練習を大切にする ○定期テストは毎学期行う。授業内容をしっかりと理解すること ○定期テストの中で、音楽の基礎知識を問う。 		
学習上の留意点	<p>音楽の様々な要素を知覚し、特質や雰囲気などをどのように感受したのかをそれぞれ確認しながら結び付けていくこと、また、音楽に関する用語や記号などを用いてイメージや意図などを伝え合い、音を媒体とするコミュニケーションである音楽活動に取り組みましょう。</p>		

学習計画		評価に当たって			
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法	
4	●オリエンテーション(1)	実技テスト 期末テスト	知識・技能	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。	・実技テスト ・期末テスト ・提出物、ワークシート内容
5	●歌声について学ぼう(2) 変声について 「校歌」・「市民歌」				
6	●楽典、聴音 (6) 音符や記号を覚えよう				
7	●歌詞と旋律の関わりを感じ取って歌おう(4) 「浜辺の歌」				
8	●鑑賞 (4) 「春」				
9	●身体でリズムを感じ取る(4)				
10	●声部の役割を感じ取って歌おう(4)				
11	●詩や曲の雰囲気合った声で言葉を大切に歌おう(2) 「赤とんぼ」				
12	●詩の内容と曲想の変化との関わりを感じ取ろう(3)。 「魔王」				
1	●楽典(3)				
2	●日本の伝統音楽に親しもう(8) ・鑑賞 (3) ・器楽				
3	●卒業式にむけて(3)				
		期末テスト	主体的に学習に取り組む態度	音楽活動の楽しさを体験することによって、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。	・実技テスト ・期末テスト ・課題内容、発言内容

●学習目標

○知識・技能	対象や事象をとらえる造形的な視点について理解し、表現方法を工夫して表そう。
○思考・判断・表現	自然の造形や美術作品などの、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和などについて考えよう。 主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げよう。
○主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もう。

●学習を進めるに当たって

使用教材	教科書 『美術1』日本文教出版 副読本 『感じるあらかず美術』浜島書店	持ち物	ファイル 教科書 資料集 単元によって指示された道具
学習の進め方	<p>[確かな学力を身につけよう]</p> <p>○学習のねらいをしっかりとらえ、目標をもって授業に臨もう。</p> <p>〈表現活動〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな発想力・計画的な構想力のもと試行錯誤をしながらも粘り強く取り組み、達成感や充実感を味わおう。 <p>〈鑑賞活動〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術作品などに対して自分の価値意識を持って味わい、自身の意見や感想をしっかりと持とう。 <p>[家庭学習]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○テレビや新聞などで美術関連の番組や記事などに興味・関心を持とう。 ○美術館や博物館で本物に触れる機会をつくろう。 ○自分の作品を飾るなどして、生活の中に生かそう。 <p>[定期テスト]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○定期テストは每学期行う。 ○授業内で行うテスト範囲についての説明をしっかりと理解すること。 ○定期テストの中で実技テストも実施する。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○チャイム着席を守ろう。 ○授業に必要なものを忘れないようにしよう。 ○説明をしっかりと聞き、授業のねらいを持とう。 ○創意工夫をして粘り強く取り組み、達成感を味わおう。 ○後片付けは責任をもってきちんとしよう。 ○作品の制作ペースには個人差があるため補習や家庭学習で補い、きちんと仕上げ、期限を守って提出しよう。 ○配布した資料は、ファイルに入れてきちんと整理しよう。 		

学習計画		評価に当たって			
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法	
4	オリエンテーション(2) ・出会って広げよう ・鑑賞との出会い	期末テスト	知識・技能	○感性や想像力を働かせ、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取っている。 ○美術文化や文化遺産などに親しみ、味わい、理解している。	定期テスト ワークシート
5	色の基礎知識(3) ・色の効果や特性を知ろう				
6	三原色から生まれる色(10) ・ポスターカラーの技法				
7					
8	文字のデザインとレタリング(7)				
9					
10	見て感じて描く(2) ・観察し、特徴をとらえる				
11	立体のデザイン(10) ・光と影の空間演出				
12					
1	美しい構成と装飾(9)	期末テスト	主体的に学習に取り組む態度	○意欲的に授業に参加している。 ○作品制作や鑑賞の力を付けるために、楽しく主体的に取り組んでいる。 ○学習内容をまとめ、整理している。	ふり返しカード 授業態度(観察) 制作途中の作品 完成作品 定期テスト 提出物の状況
2	伝統工芸の鑑賞(2) ・伝統工芸の鑑賞				
3					

●学習目標

<p>*心身の調和のとれた発達を促し、生涯を通じて健康で明るい生活ができるようにする。</p> <p>○運動の合理的な実践を通して運動の楽しさや喜びを味わう。 知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようにする。</p> <p>○運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。</p> <p>○運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を高める。</p> <p>健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を身につける。</p>
--

●学習を進めるに当たって

使用教材	<p>教科書 中学校保健体育[学研]</p> <p>副読本 中学校体育実技[学研]</p> <p>保健体育ワーク[あかつき]</p>	持ち物	<p>・半袖 ・ハーフパンツ</p> <p>・ジャージ上下</p> <p>・単元で必要なもの (水着・柔道着など)</p> <p>・保健体育のノート</p>
学習の進め方	<p>(確かな学力を身につけよう)</p> <p>○体育分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる領域での運動能力の向上を図るとともに傷害を通じて自分のできるスポーツが選択できるようにしよう。 ・仲間と協力して互いに励ましあいながら課題に挑戦しよう。 ・ルールやマナーを守り安全な環境で運動を楽しもう。 <p>○保健分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心身の機能と心の健康について理解し、生涯を通じて健康に生きることを意識する力をつけよう。 <p>○家庭学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活的自立を心がけよう。(基本的な生活習慣を身に付ける。) <p>○定期テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日ごろより授業中の説明や資料の解説、などを整理しておこう。(ノート) ・テスト範囲のお知らせプリントで内容を確認してしっかり勉強しよう。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・更衣を済ませ準備や整列をし、始業チャイムで準備運動を始められるようにする。 ・準備や片付けは、当番で協力し合おう。 ・積極的に授業に参加をし、運動量を増やそう。 ・できる、できない理由を考えて運動を行う。 ・できない種目をできないとあきらめないで挑戦しよう。 ・目標に向かって努力をしよう。 ・授業中の説明や話はしっかり聞き、ノートや資料に書き込むようにしよう。 ・保健の分野では準備物の忘れ物をせず、先生の話をしっかり聞き、常に自分のことに置き換えて、考えるようにしよう。 		

学習計画		評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法
4	・集団行動 (7)	健康な生活と病気の予防	主体的に学習に取り組む態度	・授業中の活動量(観察)
5	・体育理論 (2)			・仲間への声かけ、指示(観察・学習カード)
6	・体カテスト (3)			・授業中の発言、発表の様子(観察)
7	・陸上(10)	期末テスト	思考・判断・表現	・出席率(参加率)
8	・水泳 (10)			・運動の特性を理解しているか(テスト)
9	・体育大会練習 (10)	期末テスト	知識・技能	・体の発育・発達に興味を示しているか(観察) 等
10	・バレー (10)			・自分の目標を持つことができている。
11	・器械運動(10)	心身の発達と心の健康	知識・技能	・授業中のミーティングなど(観察)
12	・長距離走 (8)			・仲間とともにアドバイスの交換ができている。
1	・バスケットボール (12)			・ノートやカードには、自分やチームを振り返り、課題や改善点が明確に書かれている。
2	・スポーツの多様性(3)	期末テスト	知識・技能	・確認テスト
3	・ダンス (4)			・個人ノートやカードの内容
				・授業中の発言(観察) 等
				・授業での活動 等
				・授業中の審判(観察)
				・テスト 等

●学習目標

○技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育てる。

(1)生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。

(2)生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。

(3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身につける。

●学習を進めるに当たって

使用教材	教科書「技術・家庭 技術分野」開隆堂	持ち物	教科書、授業ノート
学習の進め方	<p>《確かな学力を身につけよう》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○説明はしっかりきこう。 ○何事もじっくり考え、自分にできる精一杯の努力をしよう。 ○わからないところ、できていないところはそのままにせず、自分なりに解決してから学習・実習に取り組もう。 ○できるようになったところ、自分の成長したところに自信を持とう。 ○実習中は <ul style="list-style-type: none"> ・安全第一に取り組もう。 ・説明や発表があれば静かにして聞こう。 ・教室や技術室は整理整頓をして清潔に保とう。 ・わからないところはそのままにせず、質問して納得してから作業しよう。 <p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校で習ったことを家で実践してみよう。 ○身の回りで課題を見つけたら、次の学習に生かして学び続けよう。 <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習したことをしっかり復習し、テストに臨もう。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○忘れ物をしない。 ○提出物は期限を守り、きちんと仕上げて提出しよう。 ○実習においては、目的と方法を理解し、安全を第一に取り組もう。 ○グループの活動では、仕事を分担し、対話を通して協働して作業を行おう。 ○学んだことを生活の中で実践してみよう。 		

学習計画		評価に当たって					
月	題材計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法			
4	<p><u>ガイダンス</u></p> <p>○技術の見方・考え方(2)</p> <p>○技術と生活・産業・エネルギー環境(2)</p> <p><u>材料と加工の技術</u></p>	<p>期末テスト</p> <p>知識・技能</p>	<p>・製作品の構想の表示方法に関する知識を身に付け、設計時に必要な材料の性質や機能及び構造について理解している。</p> <p>・加工技術に関する知識を身に付け、工具の仕組みについて理解している。</p> <p>・条件に基づいて製作品を設計することができる。</p> <p>・製作の目的と製作品に用いる材料に適した加工を安全に行うことができる。</p> <p>・材料を加工して製作した部品をもとに、組み立て及び仕上げることができる。</p> <p>・材料と加工に関する技術を適切に評価し活用しようとしている。</p>	<p>行動観察</p> <p>製作品</p> <p>プリント</p> <p>授業ノート</p> <p>テスト</p>			
5	<p>○生活や社会と材料と加工の技術(1)</p> <p>○部品の加工(ソーマキューブ)(2)</p>						
6	<p>○材料を利用するための技術(2)</p>						
7	<p>○問題解決の手順(1)</p> <p>○製作のための技能(2)(木材、金属、プラスチック)</p>						
8							
9	<p><u>生物育成に関する技術(材料加工と並行)</u></p>						
10	<p>○わたしたちの生活と生物育成(1)</p> <p>○生物の育成</p> <p>・栽培の計画</p>				<p>期末テスト</p> <p>思考・判断・表現</p>	<p>・生活や産業の中で用いられている技術に関心を持ち、技術が果たしている役割や、環境・エネルギー・資源について考えようとしている。</p> <p>・加工技術に関心を持ち、目的や条件に応じて、工具や機器を適切に活用しようとしている。</p> <p>・使用目的や使用条件に即した製作品を構想し、その設計について工夫し表現している。</p> <p>・材料の特徴と加工の目的に応じて、工具の仕組みを生かした使い方を工夫している。</p>	<p>行動観察</p> <p>製作品</p> <p>プリント</p> <p>授業ノート</p> <p>テスト</p>
11	<p>・作物の栽培(1)</p> <p>実習：学校園での作物の栽培(3)</p>						
12	<p>○栽培に適した環境条件(2)</p> <p>○栽培の技術と管理(2)</p>						
1	<p><u>材料と加工の技術(生物育成と並行)</u></p>	<p>学年末テスト</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>・進んで材料と加工の技術とかかわり、主体的に理解し、技能を身につけようとしている。</p> <p>・新しい考え方やとらえ方によって知的財産を創造したり、保護・活用したりしようとしている。</p> <p>・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう他者と協働して粘り強く改善・修正しようとしている。</p>	<p>行動観察</p> <p>製作品</p> <p>プリント</p> <p>授業ノート</p> <p>テスト</p>			
2	<p>○これからの材料と加工の技術(2)</p> <p>○製作品の設計・製図(3)</p> <p>○製作品の製作(製作・評価で8時間)</p> <p>実習：額縁プランター</p>						
3	<p>○部品の加工</p> <p>○組立て</p> <p>○仕上げ</p> <p>○完成、評価</p> <p>○材料と加工に関する技術の適切な評価・活用、まとめ(1)</p>						

●学習目標

○生徒の生活の見方・考え方を働かせ、衣食住などの生活に関わる実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育てる。

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活のじりつに必要な基礎的な理解を深め、技能を身に着けさせる。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を見つけ解決策を構想し、実践を評価・改善し、考えを表現し、持続可能社会での、先の生活を展望し課題を解決する能力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域のかかわりを考え、協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

●学習を進めるに当たって

使用教材	教科書 「技術・家庭 家庭科分野」 開隆堂	持ち物	教科書、授業ワークノート
学習の進め方	<p>《確かな学力を身につけよう》</p> <p>○説明はしっかりききましょう。</p> <p>○何事もじっくり考えて、自分にできる精一杯の努力をしましょう。</p> <p>○わからないところ、できていないところを明確にして、学習・実習をしましょう。</p> <p>○出来るようになったところ、自分の成長したところに自信を持ちましょう。</p> <p>○各実習においては、・安全第一に取り組みましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明中は静かにしましょう。 ・清潔にしましょう。 ・マナーを守りましょう。 <p>《家庭学習》</p> <p>○学校で習ったことを家で実践していきましょう。</p> <p>○家庭では、進んでお手伝いをし、家族の一員としての役割を果たしましょう。</p> <p>○生活の中で課題を見つけたら、学習したことを生かし工夫・解決策を考えましょう。</p> <p>《定期テスト》</p> <p>○授業中に学習したことをしっかり復習しましょう。</p>		
学習上の留意点	<p>○忘れ物をしない。</p> <p>○提出物は期限を守り、きちんと提出しましょう。</p> <p>○くれぐれも安全を第一に実習を行いましょう。</p> <p>○実習においては、目的と方法を理解して取り組みましょう。</p> <p>○グループの活動では、仕事を分担し、協力して作業を行いましょう。</p> <p>○便利なものを利用し、生活をよりよく工夫していきましょう。</p>		

学習計画		評価に当たって			
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法	
4	ガイダンス (1)	期末テスト	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服と社会生活とのかかわりを理解し衣服に適切な選択について理解する。 ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し適切にできること。 ・製作に適した材料や縫い方について理解し、用具を安全に取り扱い、製作できる。 ・消費生活において、必要な情報を収集、整理することができる。 	行動観察 プリント 授業ワークノート 製作記録表
5	B 衣食住の生活 1 目的に応じた衣服の選択 (4)				
6	消費生活・環境 家庭生活と消費 2 日常着の手入と保管 (10)				
7	消費生活・環境 持続可能な衣生活 (4)				
8		期末テスト	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の消費生活を点検し、持続可能な社会への展望を持ち、購入及び活用について考え、工夫している。 	行動観察 プリント 授業ワークノート 製作記録表 定期テスト
9	3 生活を豊かにする物をつくる (13)				
10					
11		期末テスト	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の着用、選択、手入れについて課題を見つけ、その解決を目指して工夫し創造し、実践している。 	行動観察 プリント 授業ワークノート 製作記録表 定期テスト
12	B 住生活の自立 住まいの働き・こちよさ (1)				
1	C 消費生活・環境 についての学習は3年間のA,Bの学習の中で学習します。 1 家庭生活と消費				
2	2 購入・支払いと生活情報 3 消費者被害と消費者の自立				
3	4 持続可能な社会 4 持続可能な衣生活 (2)				

●学習目標

- ①SV0 について、正しい語順で、英語を使える。
- ②60語程度の英語落語で観客を楽しませることができる。
- ③決まったトピックについて、ペア(生徒だけ)で、なんとか 1 分間のチャットを続けることができる。

●学習を進めるに当たって

使用教材	教科書 Sunshine 1 「Ticket to English」	持ち物	教科書 P ノート B5ファイル (C ノート)・・・必要な場合 (「Ticket to English」)
学習の進め方	<p><授業中の学習について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読む」「聞く」「話す」に重点を置いて、学習を行います。 ・ペアでの練習が中心となります。ペアでの活動時間は、パートナーから学び、また自分の知識や技能を伝えることを大切にしてください。 ・英語を使って、積極的にコミュニケーションをとるようにしよう。今、自分の持っている力を最大限に引き出す機会です。間違いを恐れずに、英語だけでなく、ジェスチャーなども使って、何とか相手に伝える努力をしましょう。 <p><家庭学習について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・P ノート等を活用し、毎日継続して学習する習慣をつけましょう。 ・「教科書の本文」は、完璧に書けるように努力してください。 ・「Ticket to English」では、「自分で正確に答え合わせができること」を目標にしてください。 <p><定期テストについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「テスト予想問題」を活用して、対策を立ててください。 ・リスニングテストは、1学期中間では「60点」、1学期期末では「40点」、以後のテストでは「25点」です。 ・定期テストで4割をとれない場合は、特別学習会に参加してもらいます。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイムが鳴るまでに、授業の準備を終え、着席しておいてください。 ・忘れ物をした場合は、授業前に対応してください。 ・授業でわからないときは、友だちや先生に積極的に質問してください。 ・提出物の提出期限は必ず守りましょう。万が一、提出できない場合も、必ず先生に報告し、その後の自分の行動を伝えましょう。 		

令和6年度

●学習内容及び評価について（英語科 1学年）

学習計画		評価に当たって			
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法	
4	音と文字を結びつける	中間テスト	知識・技能	<p>○英文を読み、内容を理解できるか</p> <p>○英文を聞き、質問や内容を理解し、適切に応じることができるか</p> <p>○単語・文法・文構造を正しく用いる知識を身につけているか</p>	<p>定期・実力テスト</p> <p>・リスニング</p> <p>・英作文</p> <p>・知識・言語理解</p> <p>パフォーマンステスト（本文音読・暗唱など）</p>
5	文字を正確に書く ローマ字(ヘボン式)で書ける (計14時間)				
6	プログラム1(4時間)				
7	プログラム2(4時間)				
7	プログラム3(6時間)				
7	自己紹介(11文)(7時間)				
8					
9	プログラム4(6時間)				
10	プログラム5(4時間)				
10	プログラム6(6時間)				
11	プログラム7(6時間)				
11	「私の大切な人」(7時間)				
12		期末テスト	主体的に学習に取り組む態度	<p>○Pノートで積極的に学習しているか</p> <p>○レポートなどの課題に積極的に取り組めたか</p>	<p>Pノート</p> <p>レポート</p>
1	プログラム8(6時間)				
1	プログラム9(8時間)				
2	プログラム10(9時間) (英語劇)	期末テスト			
2					
3	英語落語(6時間)				